



安全・安心をお届けいたします

## グリーンプロジェクト情報 第7号

きらきらEyeランド  
JA庄内みどり

発行：庄内みどり農業協同組合  
協力：酒田農業技術普及課

# 生育順調！有効茎数確保間近！ 遅れずに作溝・中干しを！！

6月10日現在の作柄診断圃の生育は、草丈は平年並みからやや長く、茎数は平年並みから多く、葉色は平年並みとなっています。(表1参照)

今年も、移植時期や地域により多少の生育差は見られますが、土壌残存アンモニウム態窒素は、平年と比較して多く土壌中に残っています。安易な追肥はやめ、すでに作溝・中干しの時期に達した圃場では、直ちに作業を実施し、適切な生育調節で適期に適量の穂肥ができる稲姿にしましょう。しっかり穂肥ができることが、収量・品質・食味の3拍子揃った米づくりには重要です。

表1. 現在の生育状況 (6月10日現在の作柄診断圃データ) ( )内は平年対比

品 種	草 丈	茎 数	葉 齢	葉色 (SPAD)
はえぬき	29.8 cm (109)	306 本/m <sup>2</sup> (100)	6.3 (-0.2)	40.1 (+1.2)
ひとめぼれ	30.7 cm (114)	301 本/m <sup>2</sup> (129)	6.6 (+0.3)	39.0 (+0.8)
つや姫	29.3 cm (96)	249 本/m <sup>2</sup> (113)	6.1 (±0.0)	37.8 (-0.8)

表2. 土壌アンモニウム態窒素残存調査結果 (6月10日現在作柄診断圃データ)  
(単位: mg/100g 乾土)

品 種	平成28年	平年値	平年差
はえぬき	7.9	5.7	+2.2
ひとめぼれ	7.9	3.7	+4.2
つや姫	5.1	3.5	+1.6

### 6月20日時点の各品種別指標値

**はえぬき**…草丈**33.0cm** 茎数**500本/m<sup>2</sup>** 葉数**8.3** 葉色**40.0**  
**つや姫**…草丈**35.0cm** 茎数**460本/m<sup>2</sup>** 葉数**8.3** 葉色**39.0**  
 ※理想とする指標値を目安に作業を進めましょう。

### 技、其の一 作溝・中干しは遅れずに！

地力が中以上の圃場で、すでに目標茎数(18~23本/株)を確保したら早期中干し(7.5葉期から10日間程度)を直ちに実施しましょう。

作溝・中干しは、土壌中のアンモニウム態窒素を減少させ、無効分けつや節間伸長の抑制と、根の健全化を促し、登熟及び品質向上につながります。また、収穫期までの効率的な水管理を行なう上でも重要な作業ですので、目標茎数を確保したら、速やかに作溝・中干しを実施しましょう。

中干し終了後は、走り水等で徐々に根を慣らしながら間断灌水に移行しましょう。

但し、気温18℃以下の低温時や強風時には直ちに深水にし、稲体を保護しましょう。



◎品種別、土壌別、作溝・中干しの開始目安(有効茎数の9割)

品 種	茎数(1株当り) 70株植え	作溝の間隔		中干しの程度
		壤土	埴土	
はえぬき	23本	4~5m	2~3m	小ひびの入る程度 (やや強め~強め)
ひとめぼれ	21本			
つや姫	19本			
コシヒカリ	18本			

### 技、其の二 こまめな 圃場管理で病害虫を防除！

#### ◎イナゴ

幼虫が発生しています。薬剤の使用は各地域の防除計画に基づき対応して下さい。

#### ◎斑点米カメムシ類

カメムシの発生量はやや多いと予想されています。生息密度の低減を図るため、こまめな草刈や休耕田の耕うんを徹底しましょう。

#### ◎葉いもち

圃場に放置している補植苗は、直ちに処分しましょう。薬剤散布を計画している圃場では、オリゼメート1キロ粒剤を6月20日頃まで遅れずに散布しましょう。特に山間部や風のよどむ箇所、乾田V溝直播栽培での肥料重複箇所等、生育量の多いところでは散布が遅れないように注意して下さい。

#### ◎紋枯病

例年、多発する圃場では、リンバー粒剤等の散布も検討しましょう。

#### ※特別栽培米生産者の皆様へ

特別栽培米生産圃場では、計画された薬剤以外は使用できませんので、圃場をよく見回り、病害虫の発生が確認されたら、必ず各営農課へご相談下さい。

#### ●残留農薬等のポジティブリスト制度が施行されております。

防除を実施する場合、周辺作物に飛散しないよう、風速・風向に注意しましょう。

ヘリ防除が始まります、各種圃場旗を早急に設置しましょう。

# 大豆栽培のポイントは中耕培土

今年、乾燥状態が続いたため、圃場により出芽のばらつきが見られますが、概ね良好な状況です。今後、ネキリムシの被害が懸念されますので圃場を見回り、被害が見られる場合は「ネキリエースK」を3kg/10a(使用時期:大豆本葉2葉期迄)で防除しましょう。

また、梅雨に入り雨の日が多くなると、排水不良田では湿害により生育が停滞し、雑草が発生して品質や収量に大きく影響を及ぼします。

中耕培土は有効な除草方法であると同時に、有効な湿害対策です。梅雨入りしましたので、晴れ間を見て遅れずに実施しましょう。

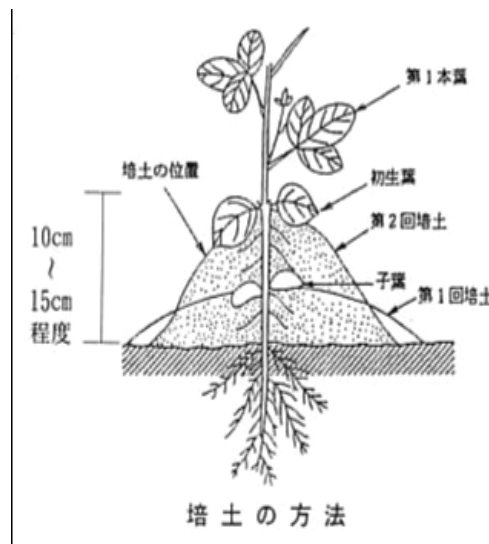
## 1. 本葉2枚頃の中耕培土(1回目) 6/16頃～

- ①中耕は、早めに実施すると効果的です。
- ②除草剤の効果が低下し、雑草の発生が目立ってきたら、遅れずに実施しましょう。

## 2. 本葉6枚頃の中耕培土(2回目) 6/30頃～

- ①尿素を現物10a当り10kg(N成分4.6kg)を施肥しましょう。  
注) 基肥に「庄内みどり大豆一発号」を施肥した場合は、①の追肥は不要です。
- ②追肥後、初生葉が隠れる位置まで、しっかり培土しましょう。
- ③ヒエ等のイネ科雑草の発生が見られたら、ワンサイドP乳剤又はポルトフロアブルを散布しましょう。  
また、広葉雑草の発生が見られたら遅れずに大豆バサグラン液剤を散布しましょう。

(除草剤を散布する際は、隣接する稲への飛散に注意しましょう!)



# 園芸情報

## ドリフト(農薬飛散)には充分注意してください!

本格的な防除シーズンの到来です。ドリフトには細心の注意を払いましょう!

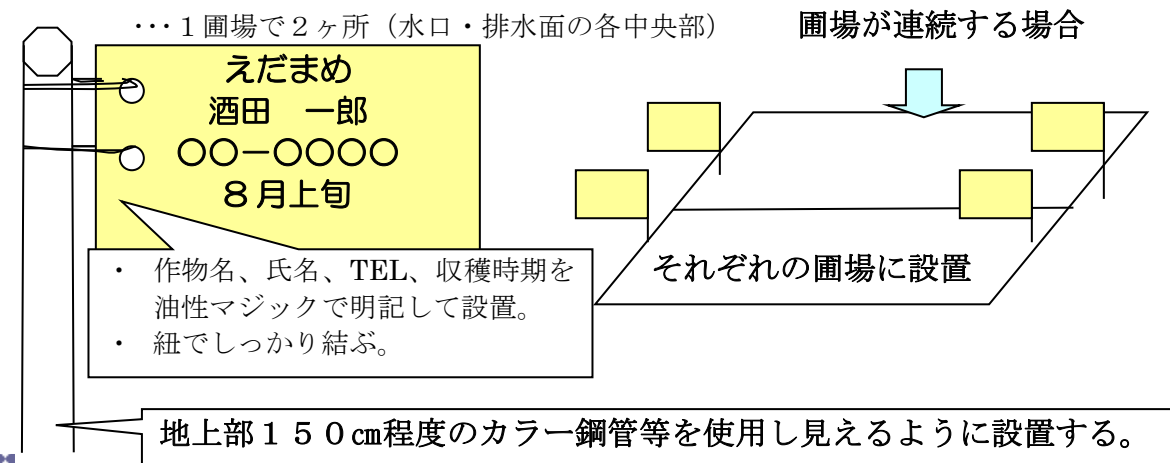
### ★農薬飛散防止対策

- ① 風が強いときや日中の散布を避け、風の弱い早朝や夕方に行いましょう。
- ② 圃場の端部では、圃場の外側から散布しましょう。
- ③ ノズルと作物の距離が開きすぎないように、できるだけ作物の近くから散布しましょう。
- ④ 散布ノズルは使用目的にあわせた適度な噴霧粒径を選択し、散布圧力をあげすぎないように注意しましょう。
- ⑤ 近接作物の収穫時期を考慮した散布計画、散布時期等について近接作物の生産者と十分に連絡をとりあいましょう。



### 栽培圃場目印旗(黄色旗)を設置しましょう!!

隣接する圃場の皆さんも防除する場合は、飛散防止にご協力をお願いします。



※各地区防除開始前までには目印旗の設置を終わらせましょう。

(遊佐地区では6月20日頃から防除が始まります)

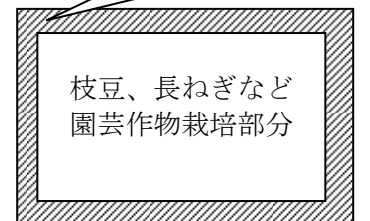
※特に枝豆は大豆と間違いやすいので、必ず目印旗を設置してください。

### ★緩衝地帯を設けましょう!

例えば下の図のような場合…

水田	水田	水田
水田	えだまめ 他	水田
水田	水田	水田

斜線部分が緩衝地帯



『緩衝地帯』とは…水田・大豆など隣接圃場との間で農薬の飛散を考慮して作付けしないエリアの事です。

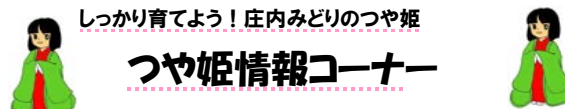
★次号の発行は7月5日(予定)です!

## 無人ヘリコプターによる一斉防除が始まります

今年も無人ヘリコプターによる一斉防除が、遊佐地区の6月20日頃を皮切りに始まります。地域ごとに詳しい防除日程等をお知らせ致しますが、ご迷惑をおかけしないよう万全の対策を講じてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

尚、お子様のいるご家庭におかれましては、無人ヘリコプターには絶対近づかないようお願いいただければ幸いです。

JA 庄内みどり無人ヘリ防除連絡協議会



しっかり育てよう! 庄内みどりのつや姫

## つや姫情報コーナー

### ○6月の管理が最重要!

#### 目標茎数を確保後は速やかに中干し!

株あたり茎数19本を確認後は、速やかに中干しに入ります! 晩生のつや姫では、籾数過剰は登熟不良を招きます! しっかり生育を制御しましょう!

### ○ケイ酸資材の投入で登熟向上!

秋・春にケイ酸資材を投入していない圃場では、出穂40日前～穂孕期にケイ酸資材を投入して、登熟向上を図りましょう!